

輝け！シン尾花沢中

つたえゆかしい 校章よ おおむつましく 丘かげに

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

おばなざわ徳良湖まつりを盛り上げたボランティア隊④

ボランティア隊の振り返り、最終号です。

石川穂乃香^{ほのか}さん：ペダルカー体験会場では、子供が乗ったペダルカーをきれいに並べるのに苦労しました。特に午後からお客さんがたくさん来たので並べるのに時間がかかり、大変でした。ティラノサウルス着ぐるみ体験会場では、脱ぎ方のお手伝いをしました。こちらもお客さんが多く大変でした。多くの大変さがありましたが、お客様や地域の方々とかかわることができたので、とてもいい機会になりました。今後もいろいろなボランティアに参加していきたいです

阿部優太郎^{ゆうたろう}さん：今回、特にためになったことは、初対面の方々とのかかわりについてです。様々な年代の方々と交流する中で、相手に合わせて話し方や表情、言動などを変えることが、ものすごくたいへんでしたが、普段の生活では得られない成長を得ることができました。今後は、今回の活動で培った判断力や他人との接し方を生かして、地域の方々との交流を深めていきたいです。また、次のボランティア活動にも参加したいです。

古郡妃菜^{ひな}さん：初めて地域の活動に参加でき、地域の人々をサポートできてよかったです。当日は風が強くボート体験ができなかったため、私は周辺のゴミ拾いをし、きれいにすることができました。普段なかなかできない、地域の方々との交流を通して、ボランティア活動の良さを実感しました。地域の方々が「お疲れ様」と声をかけてくださって、とてもうれしかったです。次のボランティア活動も参加したい、と思いました。

半澤心海^{こころみ}さん：ボランティアは、午前と午後に異なる仕事をしたのですが、友達と一緒にだったので楽しかったです。これからは地域の人々とのかかわりをもっと増やしていくことができたらいいいのかな、と思いました。

小さいころ、日曜日の午後7時30分から「世界名作劇場」というアニメーション番組がありました。「フランダースの犬」「あらいぐまラスカル」などの他に「ペリーヌ物語」という番組を覚えています。両親を失ってからの苦しい旅にも、決してくじけない少女ペリーヌの明るさと賢さが幸せを切り開いていく感動物語です。その中で、ペリーヌのお母さんが言い残した「人に愛されたければ自分から人を愛しなさい」の一節がとても心に残っています。

昨今、「ああしてほしい」「こうしてほしい」という要望はするけれども、自分からは何もしない人が増えているように思われます。私も、同じような言動をしてしまい、よく反省することがあります。そんなとき、この一節を思い出します。

みんなが幸せな「ウェルビーイング」のよりよい社会を創っていくためには、他人の役に立つ活動に思い切って挑戦し、喜びを感じる体験を積み重ねていくことが大切なのだとことを、13名の振り返りから学ばせていただきました。

ボランティア隊員の皆さん、ありがとうございました。

【文責：校長 工藤雅史】